

かごしま 市議会だより

2015 No.330

平成27年 8月 1日
編集・発行／鹿児島市議会
☎099-224-1111(市役所代表)
☎099-216-1454(政務調査課直通)
＜鹿児島市議会ホームページアドレス＞
http://www.city.kagoshima.lg.jp/gikai/index.html

第1回臨時会

第2回定例会

地方創生に関する 調査特別委員会を設置



市議会の新たな歴史を刻む

～ 西別館新議場開場式 ～

～目次～

連載

市議会
あんな・ごんな ～第15話～

「最初の国勢調査」

4面

第1回臨時会および第2回
定例会の概要、議決された
主な議案の要旨

1面

個人質疑から ……

2～4面

委員会から ……

4面

市議会からのお知らせ

4・5面

議案等に対する各会派等の
表決態度

6面

委員会の構成 ……

6面

【第1回臨時会】

第1回臨時会は、5月20日に開かれ、特別委員会の中間報告、常任委員会等の委員の選任および議会選出各種役職の選任を行いました。

このほか、市税条例等の一部を改正する条例などの専決処分2件を承認するとともに、監査委員の選任2件について同意しました。

【第2回定例会】

第2回定例会は、6月15日から7月1日までの17日間にわたって開かれました。

この定例会では、児童クラブ施設整備事業などを含む「平成27年度鹿児島市一般会計補正予算（第1号）」のほか、「養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件」や「個人情報保護条例一部改正の件」など議案23件を議決しました。

このほか、「地方創生に関する調査特別委員会」を新たに設置しました。（委員等については6面をご覧ください。）

議決された主な議案の要旨

【第1回臨時会】

▼監査委員の選任について同意を求める件（2件）

・北森たかお氏 ・入船攻一氏

【第2回定例会】

▼鹿児島市養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件

・養護老人ホームの設備および運営に関する基準の一部改正に伴い、関係条文の整備をするもの

▼鹿児島市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例及び鹿児島市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件

・児童福祉施設最低基準の一部を改正する省令および家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準の一部改正に伴い、関係条文の整備をするもの

▼鹿児島市海づり公園条例一部改正の件

・施設の利用性の向上等を図るため、海づり公園の利用時間を改めるもの

▼鹿児島市公園条例一部改正の件

・平川動物公園の管理を地方自治法の規定に基づき指定管理者に行わせるため、条文の整備をするもの

▼鹿児島市個人情報保護条例一部改正の件

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報の取扱い等を定めるもの

▼平成27年度鹿児島市一般会計補正予算（第1号）

◎主な内容
・障害者福祉施設整備補助金
・児童クラブ施設整備事業
・アジアゾウ導入推進事業
▼監査委員の選任について同意を求める件
・中園博輝氏
▼教育委員会委員の任命について同意を求める件（2件）
・津由貞利氏 ・高島まり子氏
▼公平委員会委員の選任について同意を求める件
・福元紳一氏
▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
・中島和人氏

個人質疑から

インターネット録画放映
(アクセス方法)
市議会トップページ → インターネット議会中継録画

第1回臨時会では1人、第2回定例会では19人の議員が個人質疑を行いました。
その中から一部を紹介します。
質疑者は下記のとおりです。

- | | | |
|-------------------|---------------------|--------------------|
| たてやま清隆 議員(日本共産党) | 平山たかし 議員(無所属) | 小森のぶたか 議員(公明党) |
| 片平孝市 議員(民主市民クラブ) | 堀純則 議員(自由民主党) | 桂田みち子 議員(日本共産党) |
| 小川みさ子 議員(無所属) | 菌田裕之 議員(自民みらい) | 井上剛 議員(自民みらい) |
| 川越桂路 議員(自由民主党新政会) | 大園盛仁 議員(無所属) | 幾村清徳 議員(自由民主党維新の会) |
| 崎元ひろのり 議員(公明党) | 中原力 議員(社民市民フォーラム) | 山口たけし 議員(自由民主党新政会) |
| 大園たつや 議員(日本共産党) | わきた高徳 議員(自由民主党維新の会) | |
| のぐち英一郎 議員(無所属) | 森山きよみ 議員(社民市民フォーラム) | |

第1回臨時会における個人質疑

軽自動車税のグリーン化特例の導入(市税条例等の一部改正)

問 軽自動車税のグリーン化特例の内容と目的は。また、特例対象の見込み台数と税収への影響は。

答 軽自動車税のグリーン化特例は、平成27年度に新規取得した軽四輪等で、排出ガス性能および燃費性能の優れた環境負荷の小さいものについて、その燃費性能に応じて28年度分の軽自動車税の税率を軽減する特例措置である。対象となる台数の算定は困難であるが、影響額は、地方財政計画で試算すると、28年度で約3千万円の減を見込んでいる。

第2回定例会における個人質疑

かごしま自然百選の取り組み

問 かごしま自然百選の目的、選定基準は。また、周知広報を含めた今後の取り組みと、選定された場所への案内板や解説板の設置の考えは。

答 かごしま自然百選は、平成26年3月に策定した生物多様性地域戦略に基づき選定したもので、本市の自然の魅力を広く周知することにより、貴重な自然を維持・保全するとともに、生物多様性への理解を深めることを目的としている。

選定の基準は、自然の素晴らしさが多くの人に伝わり、将来にわたり大切にしていかなければならないと感じさせるものであることや、地域住民に親しまれていることなどである。
現在、市のホームページや市民

のひろば等で周知広報に努めており、今年度は、冊子を作成し配布することになっている。また、観覧会などのイベントも検討しているところである。

案内板の設置については、設置が難しい場所もあるが、可能な場所については、今後、検討していきたいと考えている。



百選の一つ「巖洞の滝と関吉の疎水溝」

家庭ごみの有料化

問 清掃事業審議会から家庭ごみの有料化が提言された理由は。また、まずは市民との協働により資源化率を向上させるべきと考えが、見解は。

答 本年3月の提言では、本市のごみ量が近年横ばいで、一般廃棄物処理基本計画に定めている目標値や他の中核市よりも多くなっている現状などを踏まえ、他都市で導入され、ごみ減量に一定の効果がある家庭ごみの有料化についても検討を行う必要があるとされたところである。

有料化については、ごみ減量の観点から提言がなされたものであり、それ以外の施策として、生ごみ対策や資源物回収活動の促進などの取り組みも重要であるとされていることから、市民のごみに対する関心を高め、資源物回収活動の促進や適正分別を徹底するなど、

資源化率の向上に向けた取り組みも検討する必要があると考えている。

(仮称)国際交流センター

問 このたび稲盛和夫氏から、(仮称)国際交流センター建設資金として、県と市に対しそれぞれ10億円、計20億円を寄附されたが、同氏のふるさとへの思いと国際交流の意義をどう考えるか。また、本市の国際交流の歴史と現状、将来への展望や期待は。

答 国際交流の推進は、異なる歴史や文化、価値観を持つ人々の相互理解や信頼を深めると同時に地域の国際性の向上等が図られ、世界の平和と繁栄に貢献すると考えている。本市では、姉妹友好都市との交流や青少年の翼事業による派遣等、経済面、文化面を含めた多彩な交流などを積極的に推進している。また、昨年4月には市国際交流財団を設立し、市民が主体となった幅広い国際交流活動を一層促進している。

このたび、稲盛和夫氏から国際交流の拠点施設の整備に活用してほしいと多額の寄附をいただいたが、その際、同氏は「幼少期から大学までを過ごしたふるさと鹿児島のために恩返しをしたい」と考え、鹿児島島の若者たちが世界に雄飛するよう、海外に開かれた鹿児島、さらなる国際交流の推進に活用していただきたい」との熱い思いを語られた。同氏の尊い志に深く感謝の意を表するとともに、本市の国際交流の推進にさらに努力していきたい。

児童クラブの整備

問 児童クラブ施設整備事業の

直近3年間の整備状況は。また、既存施設に余裕がない場合、近隣の空き家住宅等を活用する考えは。

答

同クラブの施設整備状況は、平成25年度が3クラブ、26年度が6クラブ、27年度は年度当初に2クラブを整備し、開所したところである。また、今回の補正予算では、専用施設3クラブと余裕教室の活用による6クラブの合計9クラブを整備することとしており、いずれも来年度から供用開始予定である。
同クラブの設置については、余裕教室や学校敷地を優先して整備を進めているが、同敷地内の整備が困難な場合は、近隣の既存施設についても、児童の安全や利便性、立地環境などを総合的に勘案した上で検討していきたい。



27年度に整備した原良第二児童クラブ

子どもたちに貧困が連鎖しないための取り組み

問 子どもたちに貧困が連鎖しないように無料の学習支援、口腔衛生支援、栄養確保支援を早期に開始することへの見解は。

答 生活困窮家庭の子どもたちが学習面で不利な状況に置かれたり、必要な治療が受けられない、育ち盛りの時期に十分な食事を摂ることができないなどの問題が指

摘されている。子どもの貧困対策に取り組みむことは、貧困が世代を超えて連鎖することがない社会を目指す上でも大切なことであると考える。学習支援については、子どもの確保や配慮策、場所の設定や必要な支援員の確保など、多くの課題があるため、より効果的で効率的な支援ができるように関係部局で検討を行っている。

ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

問 ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業の目的と概要、期待する効果は。また、同事業の助成対象となる検査(B型・C型ウイルス性肝炎)の内容と自己負担額は。

答 同事業は、これまでの保健所や委託医療機関で行う肝炎ウイルス検査や相談に加えて、陽性者への受診勧奨を行うとともに、過去一年以内に陽性と判定された方への初回の精密検査費用や住民税非課税世帯で肝炎・肝硬変・肝がんを患いフォローアップ事業に同意した方に、年1回の定期検査費用の助成を行うものである。
期待する効果は、陽性者を早期発見し治療につなげることで、重症化を予防できることである。

初回精密検査の主な項目は、肝炎ウイルスや腫瘍マーカーの血液検査と超音波検査で、肝硬変・肝がんがある場合は、超音波検査に代えてCTまたはMRI撮影も対象となり、自己負担は、ウイルス性肝炎患者は約8千円、肝硬変・肝がん患者は約1万6千円である。

リノベーションまちづくり

問 リノベーションまちづくりについての認識と現在の展開は。また、同事業に対する評価と今後の検討の可能性は。

答 リノベーションまちづくりは、空き店舗などの遊休不動産を、新築時とは異なる用途に改修する手法を用いて周辺地域の価値を高め、産業振興や雇用創出などを図るもので、平成23年度に北九州市で始まった取り組みである。

同事業については、取り組みを進めている民間会社が、国土交通大臣賞を受賞するなど高い評価を得ており、国や北九州市と連携して、和歌山市、鳥取市、鹿屋市など全国にその取り組みが広がっている。

同事業では、遊休不動産の活用を通して地域の再生が図られることから、本市としても空き店舗の解消と商店街の活性化など、まちづくりの手法の一つとして注目しており、今後研究していきたいと考えている。

映画「ゆずの葉ゆれて」

問 第20回椋鳩十児童文学賞受賞作品の「ぼくとあいつのラストラン」が「ゆずの葉ゆれて」と題し、喜入地域を舞台に鹿児島オールドケで映画化されるとのことだが、ロケに対する具体的な支援内容と本市に与える効果は。

答 撮影に当たっては、撮影許可申請の代行や撮影現場への同行のほか、映画「ゆずの葉ゆれて」を支援する喜入地域の会などの関係団体と連携し、支援していきたくて考えている。また、同映画は、

本市の映画撮影等支援補助金の交付対象にもなる。

効果としては、ロケに伴う宿泊費などの直接的な経済効果のほか小松帯刀ゆかりの地や地元伝統芸能、豊かな自然など、喜入の地域資源を含めて本市の多彩な魅力が全国に情報発信されることで、地域の活性化や観光振興にも大きく寄与するものと考えている。



屋久島町・口永良部島の教訓を踏まえた安全対策

問 屋久島町・口永良部島の教訓から導き出された安全対策は。また、桜島の緊急時における住民の避難ルートマップは。

答 口永良部島では、昨年8月に発生した新岳の噴火を踏まえ、避難計画に基づく住民避難訓練を実施しており、このことが、一人の犠牲者も出さず、迅速な避難につながったものと考えている。

本市においても、桜島爆発対策計画に基づき、毎年、住民参加のもと島外避難訓練を実施しており、継続的な訓練の実施と住民の防災意識の向上を図ることが重要であると考えている。

桜島においては、地域ごとに22の避難港が整備されており、住民の避難ルートについては、毎年実施している島外避難訓練の際に、各自自主防災組織により確認が行われているところである。

谷山地区連続立体交差事業

問 鉄道高架後の高架下空間と仮線撤去後の鉄道敷地部分について、市の活用方針は。また、活用

に当たって市民から寄せられた主な要望・意見とそれに対する市の考えは。

答 高架下利用計画の策定に当たり、平成26年度は、4801名を対象にアンケート調査を実施するとともに、周辺で活動する1団体から意見聴取したところ、駅部では、「駐輪場」や「駐車場」設置の要望を、高架一般部では「休憩場所として雨天時等も使用しやすい遊歩道」設置の要望を多くいただいた。

本市としては、これらの地元要望を踏まえ、駐輪場等の公共利用を優先しながら、庁内関係部署やJR九州と協議し、本年度中に同利用計画を策定することとしている。

また、仮線撤去後の鉄道残地については、本市が取得した後、歩行者系ネットワークの構築を念頭に、同利用計画や周辺の土地整理事業と整合を図りながら、谷山地区の一体的なまちづくりに活用していきたいと考えている。



高架下の様子

平川動物公園における市民サービスの向上

問 平川動物公園における市民サービスの向上のため、園内案内のボランティアを導入する考えは。また、リピーター対策としての年

間パスポート発行等の取り組み状況は。

答 園内案内ボランティアの導入については、来園者数の増加につながることから、今年度のリニューアル事業完了時期(平成28年3月予定)に合わせて検討していきたい。

また、リピーター対策については、年間パスポートの発行件数が年間約2万件となっていることから、同パスポートがリピーターの確保に寄与しているものと考えている。今後の取り組みについては、同パスポートの所有者を対象とした限定イベントなど、リピーターを増加につなげるソフト事業を展開していきたい。



立地適正化計画の策定

問 立地適正化計画の策定目的とその効果は。

答 同計画は、人口減少や超高齢社会が進む中、これまでの都市計画法に基づく土地利用規制に加え、医療や福祉・商業施設、住居などがまとまって立地する「コンパクトなまちづくり」と、住民が公共交通により、これらの生活利便施設等にアクセスできる「公共交通によるネットワーク」とを連携させたまちづくりを進めることを目的に策定するものである。

これにより、人口密度の維持を図り、生活環境機能と公共交通の持続性の維持・向上につながることや、財政面や経済面において持続可能な都市経営を可能にするなどの効果が期待される。

スポーツができる公園やグラウンド・ゴルフ場等の設置

問 パークゴルフ施設やスポーツ少年団等が利用できるグラウンド、グラウンド・ゴルフ場設置要望への対応状況は。

答 現在、本市においてスポーツのできる公園は、38公園あるが特に新たな設置要望もないことから、市民には快適に満足してご利用いただいているものと考えている。

パークゴルフの施設については、用地確保や施設整備、維持管理など多くの課題があるが、今年度、他都市調査を行うこととしている。

スポーツ少年団の活動は学校施設等を利用しており、グラウンド設置の要望は聞いていないところである。また、高齢者クラブ・ゴルフ場は、老人クラブからの設置要望があり、一定の要件を満たす場合に整備している。現在、7カ所設置しており、高齢者の生きがいづくりに寄与しているところがある。今後とも、市内全域への均等な整備に配慮しながら、取り組んでいきたいと考えている。



平川グラウンド・ゴルフ場

学校支援ボランティア事業

問 学校支援ボランティア事業

における学習支援等の取り組み状況と関係者の主な声は。また、成果および課題は。

答 同事業は、平成26年度は全ての小学校で実施し、約7千人のボランティアが教科指導や登下校指導、読み聞かせ等の支援を行った。関係者からは、「子どもたちとの触れ合いがとても楽しい時間となった」、「授業が大変分かりやすかった」等の声が寄せられている。

成果としては、地域住民と子どもとの交流が深まったり、教員が児童と向き合うゆとりが生まれたりしたことである。また、さまざまなニーズに対応できるボランティアの確保と、ボランティアを積極的に活用する体制づくりが課題であるとされている。



桜島総合体育館の空調設備整備

問 桜島総合体育館の空調設備を整備する理由、財源および設備の方式は。また、整備後の冷暖房設備使用料は可能な限り低くするべきと考えるが、見解は。

答 桜島総合体育館は、降灰の影響が大きく夏場も窓を閉め切って利用せざるを得ない状況であり、利用に支障が出ていることから、今回、空調設備を整備するものである。財源は過疎対策事業債を活用し、設備の方式は風の影響を受けやすい競技を考慮し、輻射式を予定している。また、使用料については、今後、ランニングコストなどを踏まえ検討するが、利用者負担にも配慮したいと考えている。

地方創生の取り組み

問 日本創成会議による東京圏の高齢者の地方移住促進提言の中で、本市は移住候補地の一つに挙げられたが、このことをどう受け止め、課題をどう認識し、どのように対応していくのか、市長の見解は。

答 今回の提言において、医療介護体制が整っている41地域の一つに本市が挙げられたことは、これまで高齢者福祉や介護保険事業の充実や、安心安全な医療体制の確保に取り組んできたことが評価されたものと受け止めている。東京圏の高齢者が地方に移住される場合、医療や介護の雇用創出につながることを期待される一方で、介護施設の整備や医療保険料の取り扱いなどの課題も考えられることから、社会的な負担の枠組みを丁寧に議論していく必要があると考えている。

本市としては、高齢者ももとより幅広い年齢の方々が、本市の魅力を実感し、住んでみたいと思ってもらえるまちづくりを進めていきたいと考えている。

こそ電話詐欺にご注意
市役所等の公的機関がATMに誘導することはありません。疑問に思ったら家族や市消費生活センター、警察などに相談しましょう。

公共交通案内所の設置

問 鹿児島中央駅前や天文館等の拠点地域における公共交通案内の現状および案内設置の必要性は。また、世界文化遺産登録以降の取り組みは。

答 公共交通の案内は、特に、

異なる交通手段を乗り継いで利用する場合などには、総合的な案内情報を提供することが効果的であると考えているが、路線、ダイヤ、運賃等については、それぞれの交通事業者において設定の上、運行されることから、同事業者において利用者に対する分かりやすい情報提供がなされるのが基本であると考えている。

明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産に登録されると、本市の構成資産への来訪者の増加も予想されることから、本市ホームページ等におけるアクセス情報を充実したほか、中央駅の観光案内所等において、バス乗り場や路線など適切に案内できるように取り組んでいる。また、秋の観光シーズンのピーク時には、パークアンドライド等の交通誘導方策を実施し、公共交通の利用を促進していきたいと考えている。

郡山地域における川内原発事故時の水補給

問 原発事故が起きると水の汚染は免れないが、川内原発から郡山地域にある各水源地までの距離および同水源地からの水道水利用者数とその割合は。また、緊急事故時における水の安定供給方法は。

答 同地域にある10カ所の水源地までの距離は、同原発から近い順に、常盤地区の2カ所が28・5キロと29キロ、西俣地区の2カ所が30・5キロ、郡山、油須木地区の4カ所が31キロ、東俣地区の2カ所が33キロである。また、同地域の給水人口は、約5700人で、本市給水人口に占める割合は1割である。

水源地が被害を受け、取水ができなくなった場合、給水車等による応急給水により、対応することとしている。

交通局跡地処分

問 交通局跡地売却に関する提案公募に際し、目指すべきまちのイメージや未来像を示しながら売却先を選定する必要があると考えが見解は。また、敷地内に商業施設が整備される場合の規模制限や売却後の所有権移転制限の考えおよび今後のスケジューリングは。

答 提案公募に際しては、まちづくりに係る既存計画等を踏まえ、市中心部へのアクセスや水・緑にも恵まれた立地特性を考慮した提案を求めたいと考えている。また、望ましい利用の方向性として、安全性や防災、地域の利便性向上などを示したいと考えている。

商業施設については、「鹿児島市集約型都市構造に向けた土地利用ガイドプラン」に掲げたコンパクトなまちづくりの考え方に基づき、一定の規模制限を設け、所有権移転後一定期間は、第三者への移転等を制限したいと考えている。今後は7月に提案公募の告示を行い、11月中旬頃に提案書の提出期限とし、その後、平成27年度中に優先交渉権者を決定、28年度に売買契約を行い、解体工事等が完了予定の同年度末頃に代金を受け入れ、土地の引き渡しを行いたいと考えている。

委員会から

社会保障・税番号制度導入に伴う個人情報保護条例一部改正

問 社会保障・税番号制度いわゆるマイナンバー制度導入に伴い、本年10月に市民に対しマイナンバーが通知され、来年1月からは同制度の運用が開始されるとともに申請に基づき個人番号カードの交付が始まることとなるが、同カードを取得する市民と同制度を運用する行政のそれぞれのメリットは。

答 市民にとってのメリットは、本人確認時の身分証明書になることに加え、平成29年7月以降、国や地方公共団体との情報連携が進んだ場合、税の申告等の際の住民票等の添付書類が不要となるほか、自分の特定個人情報提供記録等がマイナポータル（情報提供等記録開示システム）で確認できるようになる。

また、行政としては、情報連携が進むことで正確な情報のやり取りができることとなり、税や社会保障の負担の公平性の確保と行政の効率化が図られるものと考えている。

問 同制度をよく認識されていない市民に対し周知が十分に行き渡ることの懸念や情報流出に対する不安があると考え、見解は。

答 同制度については、制度そのものを知らない方や知っていても情報漏えいなどに不安を抱えている方もいるのではないかと考えている。このようなことから制度を実際に運用していく本市としても、市民のひろばやホームページなどあらゆる機会を通じて広報周知に努めていきたいと考えている。



交通局跡地の位置図

市議会あんな話

「最初の国勢調査」

国勢調査は、5年に一度の国の最も重要な統計調査で、最初は大正9年10月1日に実施されました。

当時、鹿児島市長は6月8日に臨時市会を開いて「趣旨徹底のためのビラ印刷や旗行列の費用などが足りないため、市の予算で処理したい」と追加予算を提案し、市会はこれを承認しました。

実施に先立ち、9月には市立小学校の児童約1万3千人が「国勢調査の歌」を歌いながら旗行列をして、5万枚の宣伝ビラが配布されました。

また、「調査当日の午前零時に家族のことを正直に申告すること」という宣伝が繰り返され、天候では夜の10時ごろから急に

客が減り始めたそうです。

このように、現在では想像がつかないほどの大仕事であった同調査の結果により、本市の人口は初めて10万人の台を突破しました。

今年はずいぶん国勢調査が行われる年で、10月1日に実施されます。調査にご理解とご協力をお願いします。

第1回国勢調査申告書

（出典：総務省統計局ホームページ）

市議会における女性の活躍に対する取り組みについて

女性議員が活躍できる環境を整備するため、第2回定例会において市議会会議規則の一部を改正しました。

【改正内容】
議員が出産を理由に会議等を欠席する際の届出手続を定めるもの。

政務活動費の収支報告書、領収書の閲覧ができます。

平成26年度分の閲覧が簡易な手続きでできるようになりました。

閲覧ご希望の方は、市議会事務局総務課までお越しください。

市議会事務局総務課
☎099-216-1450(直通)

新たに特別委員会を設置しました

名称：地方創生に関する調査特別委員会

目的：地方創生に係る本市の「人口ビジョン」及び「総合戦略」について調査検討を行い、関係当局への意見反映をはかる。

性格：法による特別委員会

定数：13人

設置：平成27年7月1日

審査期間：調査終了までとし、調査は原則として閉会中に行うものとする。

市議会からのお知らせ

本会議の傍聴 新たに親子席や車いすスペースを設置しました!

傍聴を希望される方は、西別館4階の本会議傍聴受付までお越しください。

傍聴受付で、傍聴人受付簿に住所、氏名等をご記入いただいた後、係員が傍聴席へご案内いたします。なお、傍聴の際は、お守りいただく事項もございますのでご了承ください。

- ・耳の不自由な方のために議場のマイクの音を聞き取りやすくするワイヤレス補聴器を用意しています。
- ・手話通訳や要約筆記を希望される方は、傍聴希望日の5日前までにご連絡ください。手話通訳および要約筆記に要する費用の本人負担はありません。
- ・身体障害者の方は補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)と同伴で傍聴できます。

議長席からの様子



親子席

防音機能を備えたガラス張りの部屋になっていますので、子ども連れの方も安心して傍聴できます。



車いすスペース

車いすを使用している方も気軽に傍聴できます。



ワイヤレス補聴器

音声が聞こえにくい方に貸し出します。



市議会事務局総務課

☎ 099-216-1450(直通)



請願と陳情

市政に対する市民の要望や希望を直接反映させるための方法として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。本市議会では本市の議員の紹介がある場合を「請願」、議員の紹介がないものを「陳情」として取り扱っています。

請願の場合は、すべて委員会に付託し、会期中(定例会の期間中)または閉会中(会期外の期間中)に審査されます。

陳情の場合は、委員会に付託するものと全議員に参考送付するもの(陳情内容が国等へ意見書提出を求めるものや委員会付託になじまないと判断されるものなど)がありますが、付託されますと、原則として閉会中の委員会において審査されます。

会議録の閲覧・貸し出し

市議会では会議録を市民の皆さんがいつでも利用できるように、下記の公共施設で閲覧や貸し出しを行っています。

【閲覧・貸し出しができる施設】

市立図書館、県立図書館、地域公民館、勤労女性センター、勤労青少年ホーム、サンエールかごしま、市消費生活センター

【閲覧ができる施設】

市議会図書室、市政情報コーナー、市民相談センター、各支所、地域福祉館、高齢者福祉センター、知的障害者福祉センター、福祉コミュニティセンター、勤労者交流センター、校区公民館

【会議録検索システム】

市議会ホームページにある「会議録検索システム」で平成6年以降の会議録を開催年、ことば、発言者名などで検索・閲覧できます。

<アクセス方法>

市議会トップページ→「市議会会議録検索システム」

市議会事務局議事課

☎ 099-216-1456(直通)

本会議の中継

1 インターネットによる中継・録画放映
本会議中継では開催中の本会議をリアルタイムで、また録画放映では平成20年第2回定例会以降の本会議の様態をご覧いただけます。

2 本庁・各支所におけるモニター中継
本会議の様態や行政情報を、市政情報配信システムにより配信しています。
同システムで、本会議の開催中の様子が、本庁や各支所のロビーなどでご覧いただけます。



<アクセス方法>

市議会トップページ→「インターネット議会中継録画」

調査時報(2015年6月号)を発行しました。

市議会事務局では、中核市の主要新規単独事業および新規開設施設等をまとめた「調査時報」を発行しました。市議会ホームページや下記の施設で閲覧できます。

<アクセス方法>

市議会トップページ→「調査時報」

【閲覧ができる施設】

市議会図書室、市政情報コーナー、市民プラザ、市民相談センター、市消費生活センター、各支所、地域福祉館、高齢者福祉センター、知的障害者福祉センター、吉田福祉センター、福祉コミュニティセンター、勤労者交流センター、市立図書館、県立図書館、地域公民館、勤労女性センター、勤労青少年ホーム、サンエールかごしま

調査時報



市議会だよりの点字版・音声版をご存じですか

目の不自由な方々に市議会の活動を知っていただくために、市議会だよりの点字版・音声版(テープ・CD)を作成しています。

配付をご希望の方は、市議会事務局政務調査課までご連絡ください。



市議会事務局政務調査課

☎ 099-216-1454(直通)

議案等に対する各会派等の表決態度

○賛成 ×反対

議案名	各会派										結果	
	自由民主党 維新の会	自由民主党 新政会	社民・市民 フォーラム	公 明 党	自 民 み ら い	民 主 市 民 ク ラ ブ	自 由 民 主 党	日 本 共 産 党	無 所 属 A	無 所 属 B		無 所 属 C
議案	【第1回臨時会(5月)】											承認
	▼専決処分の承認を求める件【鹿児島市税条例等の一部を改正する条例】											
	▼専決処分の承認を求める件【鹿児島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】											
	▼監査委員の選任について同意を求める件【2件】											同意
	【第2回定例会(6月)】											
	▼鹿児島市個人情報保護条例一部改正の件											可決
	▼鹿児島市養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件											
	▼鹿児島市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例及び鹿児島市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件											
	▼鹿児島市半島振興対策実施地域工業等開発促進条例一部改正の件											
	▼鹿児島市海づり公園条例一部改正の件											
▼鹿児島市公園条例一部改正の件												
▼鹿児島市空き家等の適正管理に関する条例一部改正の件												
▼工事請負契約締結の件【別館A棟耐震改修その他本体工事】												
▼工事請負契約締結の件【別館A棟耐震改修その他電気設備工事】												
▼工事請負契約締結の件【別館A棟耐震改修その他空調設備工事】												
▼鹿児島市税条例等一部改正の件											承認	
▼自動車購入の件【水槽付消防ポンプ自動車2台】												
▼自動車購入の件【救助工作車1台】											同意	
▼平成27年度鹿児島市一般会計補正予算(第1号)												
▼平成27年度鹿児島市病院事業特別会計補正予算(第1号)												
▼平成27年度鹿児島市水道事業特別会計補正予算(第1号)												
▼鹿児島市議会会議規則一部改正の件												
▼専決処分の承認を求める件【平成27年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)】												
▼監査委員の選任について同意を求める件											不採択	
▼教育委員会委員の任命について同意を求める件【2件】												
▼公平委員会委員の選任について同意を求める件												
▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件												
請願	【第2回定例会(6月)】											不採択
▼「安全保障関連法案」に反対する意見書提出について【2件】												
陳情	【第1回臨時会(5月)】											不採択
▼川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明会開催を求めることについて【3件】												

会派名等	議員数	所属議員名				会派名等	議員数	所属議員名							
自由民主党 維新の会	11人	霜出佳寿	さとう高広	瀬戸山つよし	わきた高德	自民みらい	5人	藪田裕之	井上 剛	田中良一	うえだ勇作				
		柿元一雄	志摩れい子	谷川修一	中島蔵人			政田けいじ	伊地知紘徳	三反園輝男	ふじた太一	片平孝市			
自由民主党 新政会	7人	奥山よしじろう	川越桂路	山口たけし	仮屋秀一	自由民主党	3人	堀 純則	古江尚子	入船攻一	日本共産党	3人	たてやま清隆	桂田みち子	大園たつや
		小森こうぶん	上門秀彦	長田徳太郎	無所属A			1人	平山たかし						
社民・市民 フォーラム	6人	中原 力	大森 忍	ふじくぼ博文	北森たかお	無所属B	1人	小川みさ子	無所属C	1人	のぐち英一郎				
		森山きよみ	秋広正健	無所属D	1人			大園盛仁							
公 明 党	6人	しらが郁代	松尾まこと	上田ゆういち	長浜昌三	無所属E	1人	米山たいすけ							
		小森のぶたか	崎元ひろのり												

委員会の構成

(平成27年7月1日現在)

委員会	定数	現員	委員(◎委員長 ○副委員長)		所管事項	委員会	定数	現員	委員(◎委員長 ○副委員長)		調査・審査事項
			◎委員長	○副委員長					◎委員長	○副委員長	
常任委員会	10人	10人	◎大園たつや	谷川修一	総務局、企画財政局、会計管理室、消防局、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項	議会運営委員会	12人	12人	◎奥山よしじろう	わきた高德	1 議会の運営に関する事項 2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 3 議長の諮問に関する事項
			○しらが郁代	小川みさ子					○伊地知紘徳	崎元ひろのり	
			藪田裕之	小森こうぶん					さとう高広	大森 忍	
			伊地知紘徳	鶴 蘭 勝利					しらが郁代	山口たけし	
			北森たかお	入船攻一					藪田裕之	谷川修一	
市民健康福祉	10人	10人	◎ふじくぼ博文	わきた高德	市民局及び健康福祉局の所管に属する事項	特別委員会	12人	12人	◎片平孝市	川越桂路	桜島火山の継続的な爆発に伴う降灰対策等について調査検討を行い、国・県の財政措置を含めた各種施策のより一層の充実強化を期すため、関係当局への意見反映をはかる。
			○長田徳太郎	奥山よしじろう					○霜出佳寿	柿元一雄	
			霜出佳寿	井上 剛					瀬戸山つよし	政田けいじ	
			中原 力	片平孝市					桂田みち子	上門秀彦	
			上田ゆういち	平山たかし					松尾まこと	秋広正健	
経済企業	10人	10人	◎平山 哲	山口たけし	経済局、農業委員会、市立病院、交通局、水道局及び船舶局の所管に属する事項	都市整備対策委員会	12人	12人	◎小森こうぶん	伊地知紘徳	本市が当面している都市整備問題(河川改修、港湾整備、バイパス建設、国道226号整備、鹿児島中央駅周辺の課題)について調査検討を行い、関係当局への意見反映をはかる。
			○うえだ勇作	古江尚子					○井上 剛	ふじくぼ博文	
			たてやま清隆	柿元一雄					さとう高広	古江尚子	
			長浜昌三	幾村清徳					たてやま清隆	森山きよみ	
			大森 忍	ふじた太一					奥山よしじろう	中島蔵人	
建設	10人	10人	◎堀 純則	志摩れい子	建設局の所管に属する事項	地方創生に関する調査	13人	13人	◎谷川修一	田中良一	地方創生に係る本市の「人口ビジョン」及び「総合戦略」について調査検討を行い、関係当局への意見反映をはかる。
			○瀬戸山つよし	大園盛仁					○長田徳太郎	森山きよみ	
			桂田みち子	三反園輝男					瀬戸山つよし	上門秀彦	
			松尾まこと	上門秀彦					大園たつや	ふじた太一	
			田中良一	秋広正健					上田ゆういち	平山 哲し	
環境文教	10人	10人	◎小森のぶたか	のぐち英一郎	環境局及び教育委員会の所管に属する事項				○川越桂路	仮屋秀一	
			○川越桂路	仮屋秀一					○長田徳太郎	森山きよみ	
			米山たいすけ	森山きよみ					瀬戸山つよし	上門秀彦	
			さとう高広	政田けいじ					大園たつや	平山 哲し	
			崎元ひろのり	中島蔵人					上田ゆういち	大森 忍	

